

議長（門 瀧雄）

それでは、再開をいたします。

議員（村井 保夫）

4 番、村井保夫、まず質問は 3 点あります。

まず、1 点目は、瀬戸内芸術祭についてであります。

瀬戸内芸術祭の夏開催は、7 月 20 日から 9 月 1 日までの 44 日間開催され、総来場者数は 43 万 5,000 人と聞いております。今回、新たに参加した伊吹島では 3 万 7,706 人と多くの人が訪れ、大成功をおさめました。単純に平均しても 1 日 857 人となりますから、土曜、日曜ですと、1,000 人を超えるお客さんが島を訪れたことだと思われます。この夏の 35 度を超える猛暑日が続く中、これほど多くの人が訪れたことは驚きであり、瀬戸内芸術祭がいかにより多くの人を魅了したかがわかります。夏会期の興奮も冷めやらぬ中、あと約 2 週間で秋の開催が始まり、多度津町の高見島が会場になります。

そこで、開催に向けての準備状況をお伺いします。

船便の状況はどうなっているのでしょうか。また、J R で多度津駅に来る人のため、多度津駅から多度津港までのアクセスはどうなっていますか。車で来る人のための多度津港周辺での駐車場状況の確保はできましたか。また、お客様は高見島の食を楽しむことはできるのでしょうか。トイレなどは不足していませんか。また、案内板の設置予定はありますか。それから、京都精華大学の皆さんの作品は完成しましたか。来場者をおもてなしするボランティアの方の確保はできましたか。

以上、開催に向けての準備状況についてご答弁をお願いいたします。

質問の 2 点目は、耕作放棄地についてです。

去る 7 月 17 日、浜田知事が白方の耕作放棄地を視察に訪れ、秋山オリーブ部会長を初め、地元の農家の人々を激励してくださいました。かつては、山の斜面一帯にデラウェアが栽培されていたブドウ畑ですが、担い手の高齢化等により耕作放棄地となっていました。その土地を地元の有志が根気よく開墾してオリーブを栽培しているのですが、知事は耕作放棄地のモデルケースとして高く評価してくれました。地元の人にとって今後の取り組みの励みになったことと思います。

さて、私は 3 月議会でも耕作放棄地対策について一般質問してきましたが、今後、町として耕作放棄地対策に前向きに取り組んでいただきたいと思います。また、丸亀市では、空き農地情報バンク制度を始めたと聞きました。市内にある農地の遊休化を防止したり、遊休化した農地の解消を図るため、農地情報提供システムを活用して空き農地の情報収集や情報提供を行う制度だということです。数は少ないでしょうが、多度津町で定住するためにあいている

農地やあいている住宅を探している人は確実にいると思います。空き家バンク制度はできたのですから、丸亀市のように空き農地情報バンク制度を実施してはいかがでしょうか。移住交流促進と耕作放棄地対策の両面から見ても有効だと思いますが、町としてどのように考えているのか、お伺いします。

3点目の質問は、去る7月15日から8月15日までの間、奥白方、見立地区での鳥害虫駆除の成果についてお知らせください。また、よい結果が出たのであれば今後も続けていくのか、お伺いします。この秋からの狩猟解禁後に、問題のイノシシ、ハクビシン対策として、警察の許可を受け、今回同様、猟友会にお願いをして早期の駆除をしてはいかがかと思います。昨年1年間で香川県でのイノシシの駆除頭数は約7,000頭とのことですが、我が多度津町は聞くところによりますとわなで11頭、おりで3頭とのことですが、いかにも捕獲頭数が少ないと思いますがいかがでしょうか、お答えください。

以上、終わります。

町長（丸尾 幸雄）

村井 保夫議員ご質問のうち、瀬戸内国際芸術祭についてお答えをしております。

瀬戸内国際芸術祭は、離島振興と地域の活性化を目的として、2度目となる今回は香川県全体で開催されております。日本で最初の国立公園に指定されて、風光明媚な瀬戸内海国立公園を舞台に、これまで春、夏開催は終了いたしました。たくさんの来場者を招いております。10月5日から11月4日までは、秋開催として高見島と本島、栗島での開催予定で、現在準備の最終段階になっております。

先日は、高見島で高見、佐柳の合同運動会が開催され、両島民を初め、自衛隊善通寺駐屯地の音楽隊や玉川大学の皆様、そしてたくさんのボランティアの方々によって大きな盛り上がりを見せました。折しも瀬戸芸の前祝いのような感じでありました。この瀬戸芸の開催に当たりましては、当初より町全体で取り組みたいと考え、町内各団体に実行委員会と支援協議会を結成していただき、現在も会場お手伝いのボランティアを募集しているところであります。多くの方々のご協力、ご支援を心よりお待ちしております。町職員も一丸となって臨む体制をつくっておりますので、ご理解賜りますようお願いを申し上げ、担当課長より詳しく答弁を申し上げてまいりますので、よろしくお願いをいたします。

産業課長（岡 敦憲）

村井 保夫議員のご質問のうち、まず第1点目の瀬戸内国際芸術祭開催に向けての準備状況についてお答えいたします。

まず、船便の状況ですが、前回の議会でも答弁いたしましたとおり、多度津港

からの便では、昼便、多度津港を 11 時に出港する便を 1 便ふやし、1 日 5 便としております。さらに、高速船ではありますが、本島からの便を 6 便、粟島からの便を 6 便運航することとしております。

J R 多度津駅からのアクセスですが、多度津港を出港する 9 時 5 分便からの出港にあわせて町のマイクロバスを運行することとしております。駅から多度津港まで、通常ですと五、六分だとは思いますが、朝の通勤時間と重なり合うこともありますので、10 分前後、15 分ぐらいかかる場合もあろうかと思えます。車が往復する間に、徒歩で港に着くこともあろうかと思っております。また、マイクロバスの定員が 22 名であることから、全ての人を港まで送ることは不可能と考えております。定員が 10 名ではありますが、ステーションワゴンの運行も視野に入れて検討しているところであります。

駐車場については、浜街道沿いの部分、旧福山多度津フェリーの乗り場跡地、スポーツセンターの駐車場などを考えております。フェリー乗り場の跡地では 150 台前後の車のスペースがあろうかと思っております。まだ、白線引きはしていませんけれども、150 台と想定しております。

続きまして、食についてですが、ご存じのとおり、作品番号 125 の海のテラスでは、イタリアンレストランを展開する DEAR が 3 種類のパスタを提供いたします。提供できるのは 100 食前後と聞いております。また、地元の方で、カレーやシラス丼を提供する方、予約が必要ですが、お魚定食や茶がゆを提供しようと計画している人もおります。実行委員会では、土、日、祝日に限りませんが、いこいの家で茶がゆを 11 時から 100 食を接待することとしております。村井議員もおっしゃるように、伊吹島は夏休み中ということもあって 3 万 7,706 人の人が来島しました。聞くとところによると、土曜、日曜は 1,200 から 1,500 来島したと聞いております。平均すると、平日は 600 人前後になるかと思えます。高見島で全ての人が食を楽しむことはできないと考えております。トイレについても、前回議会で答弁いたしましたが、仮設トイレを 7 つ設置しております。このほかにも高見島の研修センター、旧高見小・中学校とか、いこいの家や作品を展開している家で浄化槽トイレがあるところは使用を考えております。仮設トイレのくみ取りについては毎週金曜日に行うと、土、日、祝日には、土曜日には朝にはからの状態だと考えております。

案内板は、県実行委員会が作成するオフィシャルボードと決められておりますので、県実行委員会と協議しつつ、設置しているところであります。

また、現時点で完成しておる作品は、西山美なコさんの新なぎさ号の装飾のみとなっております。そのほかは、作品は未完成です。先日の台風で半壊した作品もありますが、それぞれの作家さんが頑張っているところではあります。

ボランティアにつきましては、現在募集中です。陸地部の駐車場係も含めると、

延べで 500 人以上の人が必要となります。職員にも平均 2 回から 3 回お願いすることとなっております。

次に、2 点目の耕作放棄地対策として、空き農地情報バンク制度を実施してはどうかとの質問ですが、現在多度津町での耕作放棄地対策として、農事組合等の方が遊休農地などを利用して、集団で放棄地とならぬよう頑張ってもらっているのが現状です。今後は、ご指摘のように、丸亀市で行っておる空き農地情報バンク制度について問い合わせるなどとともに、本町の農業委員会の方々とも協議、情報交換を重ねて研究していきたいと考えております。

続きまして、3 点目、有害鳥獣駆除についてのご質問ですが、7 月 15 日から 8 月 15 日までの間、鳥獣、カラスなどの駆除については J A 香川県仲多度地区営農センターの事業として、香川県猟友会丸亀支部の方にお願いし、実施しております。カラス 177 羽、ムクドリ 6 羽を駆除いたしました。農家の方からは、駆除を行ったことで、ことしはブドウなどの農作物、あるいはビニールハウス等への被害が少なかったと聞いております。今後も J A 香川県仲多度営農センターと協力し合いながら進めていきたいと考えております。

また、イノシシについてであります。狩猟期間は 11 月 15 日から 3 月 15 日までの間となっております。

ハクビシンについては、県からの有害鳥獣捕獲許可により、町職員が、うちの課の職員が駆除を行っているところであります。村井議員がおっしゃるように、平成 24 年度でのイノシシの捕獲数は 7,000 頭近く、6,935 頭で、狩猟期間が 3,556 頭、有害駆除は 3,379 頭でした。これは、簡単に申しますと、市町が捕獲した数と猟友会が独自に捕獲した数の合計であります。多度津町では、昨年度は 9 頭でした。猟友会の方の捕獲数は聞き取りではありますが、7 頭と聞いております。県の調べでは、三豊市側を含むエリア内で 35 頭となっております。また、本年度 4 月 1 日から 9 月 13 日までの間ですが、13 頭を捕獲しております。2 日前にも 2 頭捕獲しましたので、現時点では 15 頭ということになっております。今後とも猟友会や県とも協力し合いながら、捕獲を進めてまいりたいと考えております。

以上、村井 保夫議員の瀬戸内国際芸術祭、あるいは耕作放棄地対策、有害鳥獣駆除については以上のように考えております。ご理解賜りますようお願い申し上げます、答弁とさせていただきます。

議長（門 瀧雄）

以上で村井保夫議員の一般質問に対する答弁は、町長、担当課長からありましたが、村井保夫議員、再質問があればお受けいたします。

議員（村井 保夫）

瀬戸内芸術祭については、多度津町にとって大変なイベントであり、担当し

ている職員にとっては大変なご苦勞があると思いますが、またよろしく願い
したいと思います。

そして、高見島を訪れるお客さんは多くが車でのお客さんであろうと思われま
す。その中で、できるだけ港の近くへの駐車場の確保をお願いしたいと思いま
す。例えば、旧多度津石油跡地、百十四バンク A T Mの駐車場とか、そういう
ところもお願いをして、駐車場確保してはいかがかと思います。そういう駐車
場の確保をまた高見島開催についての売りにしてはどうかと思っております。
また、耕作放棄地については劇的に改善するということはまた難しいと思いま
すが、少しずつでも改善されていければと思っております。

また、3点目の質問ですが、成果が上がっているのであれば今後何年間かは続
けてもらって、少しでも農家の方々が安心して農作業ができる方向へ、できる
だけ早く取り組んでももらいたいと思います。

以上です。

議長（門 瀧雄）

質問要りますか。

議員（村井 保夫）

要望です。

議長（門 瀧雄）

要望でええんですか。

議員（村井 保夫）

はい。

議長（門 瀧雄）

これをもって4番、村井保夫議員の質問は終わります。